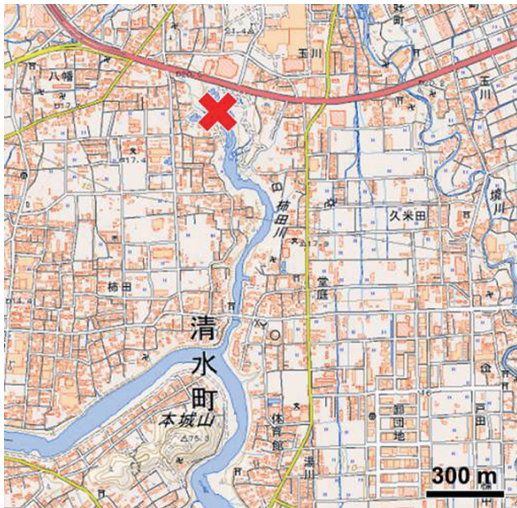
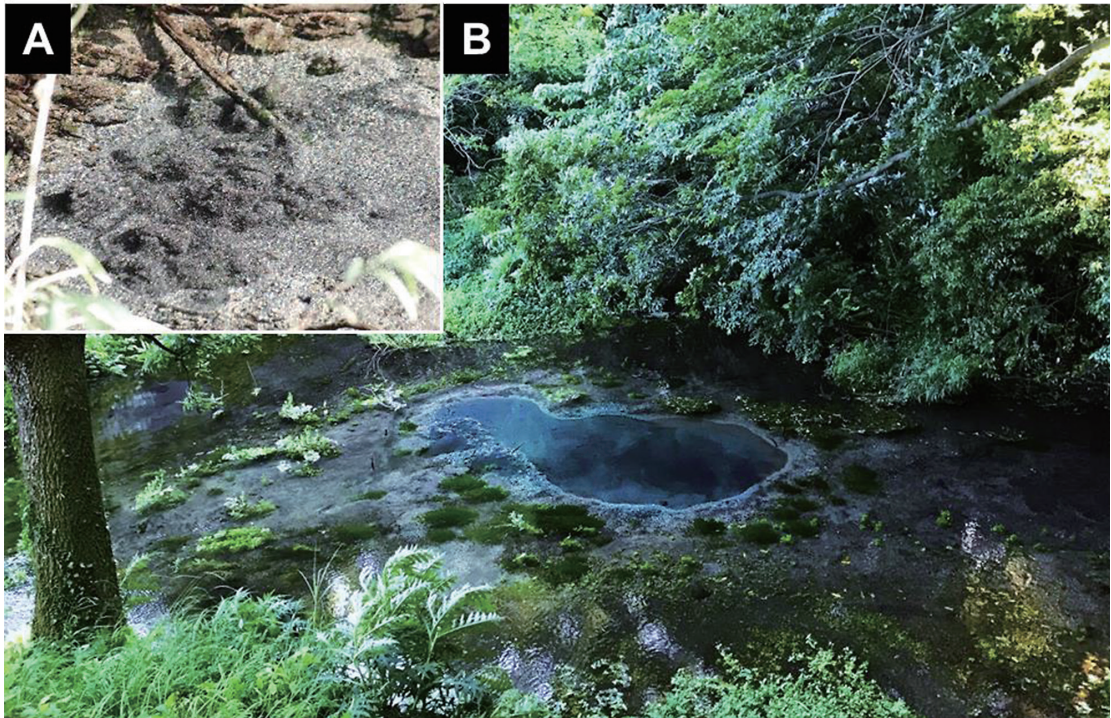


E027 柿田川湧水群（静岡県GEO DATA（22）：
地学散歩（101））

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 竹林, 知大, 楠, 賢司 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00028582

E027 柿田川湧水群



国土地理院 地理院地図 (電子国土Web)

柿田川湧水群は、駿東郡清水町の国道一号線に面した柿田川公園内で観察できる。この湧水群は、環境省名水百選(1985年)、国指定天然記念物(2011年)及び伊豆半島世界ジオパーク(2018年)のジオスポットに認定されている。園内には数十の湧水口があり、群全体の日あたりの湧水量は約100万トンにも達し、「東洋一の湧水」とも呼ばれている。湧水源は富士山に降った雨水や雪解け水などであり、湧水は、これらの水が三島溶岩流の中(隙間や砂礫層の部分など)を流動して十数年掛けて流れ下って湧き出たものである。写真Aは柿田川最上流部の柿田川公園第一展望台から見える湧水であり、湧水による細礫や砂(カワゴ平軽石:約3200年前)の巻き上げを観察できる。写真Bは、同展望台から見た湧水周辺の様子で、水中に深緑色を呈して繁殖しているのは清流にしか認められないミシマバイカモである。この他にも園内では、同様に水質の良い環境にしか生息しないゲンジボタル(5月~7月)やアオハダトンボ(5月~11月)、落ちアユ(11月~12月)などの動物も目にすることができる。これらの生き物は、まさに地球システム(水圏・地圏・気圏の相互作用)が育んでいると言えよう。(竹林知大・楠賢司)